

北大病院内科 II・名古屋市立大学産婦人科・名古屋市立西部医療センター産婦人科に、過去に通院・入院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 正常妊娠及び妊娠合併症における抗補体抗体及び補体異常について

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 渥美 達也 (内科 II・教授)

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 北海道大学病院 内科 II 教授 渥美 達也

[共同研究機関名・研究責任者名]

杉浦 真弓	名古屋市立大学産婦人科	教授
北折 珠央	名古屋市立大学産婦人科	助教
柴田 金光	名古屋市立西部医療センター産婦人科	第一部長
西川 尚実	名古屋市立西部医療センター産婦人科	第二部長

[研究の目的] 不育症の治療法の向上に役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

1. 自己免疫疾患の患者さんで、平成 18 年 7 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日の間に、「自己免疫疾患の病因、病態に影響を及ぼす遺伝的背景に関する研究」の研究用の血液の保管に同意された方
お預かりした血液は-80°Cの冷凍保存で北海道大学病院に保存してあります。
2. (名古屋市立大学病院に通院していた) 習慣流産患者さんで、平成 26 年 3 月までの間に、「習慣流産における原因遺伝子の探索」の研究用の血液の保管に同意された方
*北海道大学病院に通院中の患者さんは対象外です。

○利用する検体・カルテ情報

検体：血液

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見（身長、体重）、流産歴の有無とその時期・回数、血栓症歴の有無、感染症・その他疾患・臓器障害の有無、治療及び期間、検査結果

[研究実施期間] 実施許可日～2025年3月31日（登録締切日：2021年3月31日）

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院内科 II 担当医師 奥 健志

電話 011-706-5915